

国外実態調査報告書

テーマ : 韓国における ICT の導入状況の調査
ゼミ名 : 竹田 信夫 ゼミ
調査日 : 2024 年 9 月 2 日 (月) ~ 2024 年 9 月 5 日 (木)
調査先 : 【韓国】ソウル市
授業科目名 : 演習 I・II、演習 III・IV
参加学生数 : 1 名 (3 年生)、1 名 (4 年生)

調査の趣旨 (目的)

2023 年に続いてソウル市を中心に韓国の IT の導入状況を調査する。

調査結果

韓国における IT 環境の導入状況を

1. キャッシュレス決済の導入、利用の状況。
 2. NFC TypeA の世界的な普及に対して韓国における対応の状況。
- 35G 通信の導入状況。
について調査した。

1. についてサムソンなどの財閥企業を中心として、各種キャッシュレスサービスは提案導入されているが、日本や中国に比べて特に QR コード決算等非クレジット決済系のサービスの普及は歩みが遅いように感じる学生が多かった。この点について、韓国におけるクレジットカード普及の状況、韓国の SNA における家計債務残高の状況などについて踏まえたうえで様々なディスカッションを行った。

2. について、地下鉄や KR などの改札機や券売機等の状況を調査し、2000 年代に整備された TypeA 機器と 2010 年以降整備された TypeA 機器の違いについて、形状、利用状況等を調査し、この調査を踏まえてディスカッションを行った。TypeA のスループアス量について特に調査結果からの検討が行われた。

3. 5G について、韓国では昨年 5G サービスの提供業者である大手通信事業者三社のうち最大手 KT を含む 2 社が 5G 高速化の決め手ともいえるミリ波のサービスを停止し、新興三社がそのサービスをめぐって苛烈なバトルを展開した。勝者となったステージ X のサービス開始は調査時点でまだであったが、最大手 KT と LG U+がミリ波サービスを停止している状況での 5G の AP 等の展開状況と通信速度などを調査し、今後の状況等についてディスカッションを行った。ミリ波サービス不在の中での 5G の通信速度はそこそ早く、日本の主要キャリアと差がないというデータの一方大手三社中唯一ミリ波サービスを展開している SK の速度が思ったほど高くないなど、複雑な状態の解釈とその理由について色々な検討が行われた。